

前橋国際芸術祭×群馬パーセントフォーアート

活動報告展「constellations：星座を描くように」&オープンスタジオ 開催決定！



吉開菜央《Shari》2021／デジタル／63分

ナイトウカツ《Behind Their Gaze, There I am》2025／前橋市千代田町にて撮影

前橋国際芸術祭では、群馬県が推進する「群馬パーセントフォーアート（※）」との連携事業として、本年度、前橋に4名の作家を招聘しました。映像、写真、油絵、刺繍という異なる表現手法をもつ作家たちは、前橋の風土や歴史、街の人々、日常の風景に触れながら、自身との接点を見出すプロジェクトに取り組んでいます。

映画作家・吉開奈央は前橋の「からっ風」をテーマにした映像詩の制作を進め、写真家・ナイトウカツは、カメラを媒介にして、前橋で日本語を学ぶ語学学校の学生たちとの対話的なポートレートプロジェクトを展開しました。そして、東京藝術大学大学院油画第6研究室（薄久保香准教授）との連携を通じて招聘された若手ペインターの木々津鏡は、街なかにある何気ないモチーフを題材に静物画を描き、レア・エンベリは、故郷セルビアの刺繍コミュニティの女性たちと、かつて絹産業に従事した前橋の女性たちの姿を重ね合わせながら、「ケアとしての刺繍」をテーマにリサーチを行っています。

本報告展「constellations：星座を描くように」では、星と星の間に関係を見出して星座を描くように、4名の作家が異なる経験や記憶、モチーフを接続しながら作品世界を立ち上げていくプロセスを、制作中の作品やリサーチ資料の一部を通して紹介します。本展で発表される内容は、2026年秋に開催予定の前橋国際芸術祭において、完成形として展示されます。

また、報告展に先立ち、2月28日には木々津鏡とレア・エンベリによるオープンスタジオを開催します。制作の現場を公開し、制作過程やリサーチの様子をご覧いただけます。アートに関心のある方、作家の思考プロセスに触れてみたい方、前橋国際芸術祭の取り組みに関心のある方など、どなたでもお気軽にお越しください。

【出展作家】



吉開奈央 (よしがい・なお)・・・映画作家・ダンサー。世界を五感で理解しようとする時に、心と身体に起こる変化を「踊り」と捉え、その感覚を軸に映画を制作。主な監督作品に『Shari』（ロッテルダム国際映画祭 2022 公式選出）、『Grand Bouquet』（カンヌ監督週間 2019 正式招待）、『ほったまるびより』（第 19 回文化庁メディア芸術祭エンターテインメント部門新人賞）。演者として映画出演、舞台作品の演出・美術も手掛ける。(Photo by Atsuko Chiba)



ナイトウカツ・・・写真家・ディレクター。18 歳で単身渡米し、40 年以上にわたりニューヨークで撮影を続け、2025 年に帰国した。静謐で観察的なまなざしを基盤に、1990 年代のハーレムやマンハッタンで周縁的なコミュニティと長い時間を共有し、その人間像を丁寧に掬い上げてきた。代表作『West Side Rendezvous』（2010）と『Once in Harlem』（2017）は、被写体の尊厳と日常の奥行きを描き評価されている。作品は国際的に発表され、HBO『The Stroll』（2023）、FOX『The Woman in the Window』（2021）、Apple TV『Ripple Effects』（2021）にも使用された。2023 年には Rema Hort Mann Foundation から奨学金を授与。現在は群馬県前橋市在住。



木々津鏡 (きぎつ・かがみ)・・・画家。2000 年東京都生まれ。現在東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻に在籍中。身近なモチーフを通して記憶や時間の揺らぎを描き出し、新たな風景の創造を試みる油彩画を制作している。2025 年に「CAF 賞 2025」入選、「MUWA NISEKO AiR2025」優秀賞、「第 12 回未来展-日動画廊 美術大学学生支援プログラム-」東京海上日動未来賞を受賞。個展「Cutting melon」（TURNER GALLERY, 2024）「くもりガラスの両手」（MIDORI.so 中目黒,2025）をはじめ、多数の展覧会に参加。



レア・エンベリ・・・アーティスト／画家。2017 年に藝術大学応用芸術学部応用絵画学科を卒業、2018 年に修士課程を修了。教育・科学・技術開発省およびセルビアの若い才能のための財団より奨学金を授与される。学業成績優秀者に贈られるアレクサンダル・トマシェヴィッチ賞、応用絵画分野の ULUPUDS 賞、若手アーティストに贈られるヴチュコヴィッチ賞を受賞。2021 年、文部科学省（MEXT）奨学金を受けて東京藝術大学油画研究科に留学し、2023 年 4 月から正規生として 2 度目の修士課程に進学、2025 年 3 月に修了。現在もセルビアと日本を拠点にアーティストとして活動している。

【活動報告展 開催概要】

展覧会名	constellations: 星座を描くように
開催期間	2026年3月19日[木]ー2026年3月22日[日]
会場	re/noma 1階 (〒371-0022 群馬県前橋市千代田町 4-1-2)
開館時間	13:00~18:00 (入場は 17:30 まで)
入場料	無料
主催	前橋国際芸術祭実行委員会、群馬県
企画/協力	東京藝術大学大学院油画第6研究室 (薄久保香准教授)

【オープンスタジオ 開催概要】

開催日	2026年2月28日[土]
会場	本屋水紋 2階 (〒371-0022 群馬県前橋市千代田町 2-12-4)
開館時間	15:30~18:30
入場料	無料 (事前予約不要)

【アーティストトーク 実施概要】

開催日	2026年3月20日[金祝]
会場	本屋水紋 2階 (〒371-0022 群馬県前橋市千代田町 2-12-4)
時間	16:00~18:00 (15:30 開場)
登壇	木々津鏡 (本展出展作家)、薄久保香 (東京藝術大学准教授)
入場料	無料 (事前予約不要)
内容	「前橋国際芸術祭 2026」(9月開幕)参加アーティストによる月例活動報告会「めぶく。カンファレンス」vol.7にて本展の公開レビューを行います。ゲストに、木々津さんとレアさんの指導教員でもある東京藝術大学・薄久保香准教授をお招きします。

(※) 群馬パーセントフォーアートとは・・・全国初の「群馬パーセントフォーアート」推進条例(令和5年4月1日施行)に基づき、群馬県予算の一定割合をアート振興施策に支出し、アートによる地域活性化を図る群馬県の取組

お問い合わせ先 | 前橋国際芸術祭実行委員会事務局 (前橋まちなかエージェンシー)

所在地: 〒371-0022 群馬県前橋市千代田町 2-10-2 comm

担当: 寺田玲乃、根本千沙季 | E-Mail: info@machinaka.agency